

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームそおれⅡ

作成日 平成 22 年 3 月 9 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	「高齢者虐待」の理解については、マニュアルや資料を用意し、スタッフ各自で読んでもらうなど、各個人に委ねているのが、現状である。どこまで虐待について、理解できているのか把握しきれていない。	虐待についての理解を深める。	虐待防止委員会を立ち上げ、年3回の研修を行う。初回は、3月実施。	1年
2	5	身体拘束にあたるベット柵、車椅子ベルトをされている入居者様がいらっしゃる。身体拘束しないケアの取り組みが十分できていない。	身体拘束を行わないケアを目指す。	①身体拘束を行わないケアの方法を話し合う（サービス担当者会議の場を活用する。家族も参加して頂く） ②入居者様の身体に危険のない程度で、身体拘束を行わないケアを実践する。 ③記録をとり、スタッフ間で情報を共有する。	1年
3	3	運営推進会議を2か月に一回開催しているが、常に同じ様な内容である。	活発な意見交換の場とし“そおれ”のケアの取り組みを積極的にアピールする。また、それらの報告に対する意見を反映し、さらなるサービスの向上につなげる。	事前に議題をお知らせする。	1年
4	1	理念に基づくケアを展開しているが、抽象的で具体的な行動指針に欠ける。スタッフ目線のこういったホームにしたいという目標が明確でない。	ホームの目標を作成し、共有する。	①現場のリーダーが積極的にスタッフとコミュニケーションを図る ②考課面接時、次年度のホームの目標をスタッフ自身で掲げられるよう、支援を行う	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。